

報文発表時間割 (1日目)

「A会場」11月11日

調査・研究

11報文

4階 メイプル

番号	報文名	発表者	勤務先	発表時間
A-1	橋梁桁端部を対象とした電気防食工法の研究開発	ウヅメ 健司 梅津 健司	三井住友建設(株)	15:00~15:15
A-2	超音波による高力ボルトの遅れ破壊調査事例	アオヤギ 圭祐 青柳 圭祐	(株)コンクリート診断	15:15~15:30
A-3	音響モニタリングによるPCケーブル破断位置の同定	ミヤシタ 剛 宮下 剛	長岡技術科学大学 環境・建設系	15:30~15:45
A-4	能登半島における塩害とASRにより複合劣化したPC橋の補修 -電気防食工法の適用と維持管理の取組み-	アサダ 正弘 麻田 正弘	アルスコンサルタンツ(株)	15:45~16:00
A-5	新潟県沿岸部にある橋梁の塩害劣化の実態と耐久設計法の検証	タカ 泰司 田中 泰司	長岡技術科学大学 環境・建設系	16:00~16:15
A-6	アルカリシリカ反応で損傷した鋼道路橋RC床版の調査	カウ 孝行 五島 孝行	(一財)土木研究センター	16:15~16:30
A-7	打音法による橋梁床版の損傷検知の信頼性に関する検討	ヤマ 弘晃 杉山 弘晃	金沢工業大学	16:30~16:45
A-8	コンクリート地際部における非接触・非破壊検査システム	ホシ 直史 細見 直史	(株)東京鐵骨橋梁	16:45~17:00
A-9	電気防食工法を施した新設橋梁の追跡調査について -供用10年を経過した名立大橋から得た知見-	ウチヤマ 徹 内山 徹	北陸地方整備局 北陸技術事務所	17:00~17:15
A-10	プレストレストコンクリート撤去桁の載荷試験 -軸方向ひび割れによる耐荷性能への影響-	アオヤギ 聖 青柳 聖	(独)土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	17:15~17:30
A-11	塩害を受けたポストテンションPCT桁の臨床研究 -PC鋼材の付着特性に着目した載荷試験-	アソザワ 政和 松沢 政和	(独)土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	17:30~17:45

「B会場」11月11日

維持管理・施工 1

11報文

5階 常磐の間(A)

番号	報文名	発表者	勤務先	発表時間
B-1	鋼道路橋に生じた腐食損傷部位の補修対策検討	オチアイ 盛人 落合 盛人	(一財)土木研究センター	15:00~15:15
B-2	既設鋼床版の接着剤を用いた補強工法の事例報告	イセ 八洋 一瀬 八洋	鹿島道路(株)	15:15~15:30
B-3	軸力を受ける鋼部材の炭素繊維シートによる補修に関する実験および施工事例	ヒラカ 佑哉 秀熊 佑哉	新日鉄住金マテリアルズ(株)	15:30~15:45
B-4	黒部大橋 ビン支承の据え直し事例 -黒瀬川側道橋外補修工事-	マツダ 智史 松田 智史	佐藤鉄工(株)	15:45~16:00
B-5	道路橋RC床版の接着剤を用いた補強・補修工法と事例報告	イトウ 清志 伊藤 清志	鹿島道路(株)	16:00~16:15
B-6	高耐力マイクロパイルによる既設橋梁基礎の補強 -狭隘地、空頭制限下で施工可能な小口径杭工法-	イトウ 芳寿 稲富 芳寿	極東興和(株)	16:15~16:30
B-7	狭隘な桁下空間でのピアーフレ工法による橋脚のせん断補強と曲げ補強	イワノ 啓介 岩澤 啓介	オリエンタル白石(株)	16:30~16:45
B-8	千歳大橋における河川内橋脚の無補強化施工の提案について	カバ 功太 神庭 功太	北陸地方整備局 新潟国道事務所	16:45~17:00
B-9	速硬性混和材を用いたJIS生コンクリートによる鋼橋RC床版の補修	シマ 勝俊 島 勝俊	中日本高速道路(株)金沢支社 福井保全・サービスセンター	17:00~17:15
B-10	長岡大橋における電磁波レーダ調査に基づく床版補修工事の施工報告	コバヤシ 正憲 小林 正憲	北陸地方整備局 長岡国道事務所	17:15~17:30
B-11	新潟市管理橋梁(鋼橋)の腐食状況と防食対策	ワタベ 勝彦 渡辺 勝彦	新潟市東部地域土木事務所	17:30~17:45

報文発表時間割（1日目）

「C 会場」11月11日

維持管理・施工 2 11報文

5階 常磐の間(B)

番号	報 文 名	発表者	勤務先	発表時間
C-1	ASRで劣化した橋台の補修工事の施工と効果の確認について ～亜硝酸リチウム内部圧入によるASR抑制効果～	ナノ直野 かつ和入	極東興和(株)	15:00～15:15
C-2	耐久性および施工性に配慮したコンクリート床版取替え事例	マサハ脇坂 英男	オリエンタル白石(株)	15:15～15:30
C-3	橋梁全体系に着目した大規模PC橋の耐震補強設計 ～北陸自動車道 笠島橋～	シキジ敷地 トシヒロ俊洋	東日本高速道路(株)	15:30～15:45
C-4	コンクリート構造物に適用された電気防食の維持管理法に関する一考察	フダ布田 ヒト美	(株)ナカボーテック 事業統括部RC推進部	15:45～16:00
C-5	炭素繊維プレート緊張材を用いたプレテンションPC桁（旧建設省ホロー桁）の補強 ～北今市橋の補強～	ハセガワ長谷川 テルアキ照晃	ドービー建設工業㈱	16:00～16:15
C-6	豪雪地帯における塩害損傷状況を考慮した橋梁補修対策について	コウ後藤 カズヒロ和浩	(株)ネクスコ・ エンジニアリング新潟	16:15～16:30
C-7	コンクリート橋桁端狭隘部の調査・補修工法 ～NSRV工法～	オオバヤシ大林 アツシ敦裕	(株)ピーエス三菱	16:30～16:45
C-8	飛来塩分環境下のPC橋梁上部工予防保全対策検討 ～北陸自動車道 親不知海岸高架橋～	ハナタ花谷 ヒト志	東日本高速道路㈱	16:45～17:00
C-9	北陸地方整備局管理橋梁の補修状況 ～橋梁管理カルテの補修履歴による集計分析～	ヒラチ樋口 サシ敏	(一財)橋梁調査会	17:00～17:15
C-10	関越自動車道 湯沢管理事務所管内の塩害補修について	シメズ清水 ユウスケ遼介	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟 湯沢道路事務所	17:15～17:30
C-11	北陸自動車道 親不知海岸高架橋における波浪対策について ～波浪による損傷状況と対策の検討及び実施についての報告～	カキハシ高橋 ユウ祐	東日本高速道路(株) 新潟支社信越(工)	17:30～17:45

「D 会場」11月11日

材料 3報文

5階 波光の間

その他 1報文

点検・設計 7報文

番号	報 文 名	発表者	勤務先	発表時間
D-1	FRP防護板を用いた鋼桁間の腐食環境改善事例 腐食環境に設置した検査路用FRPブラケット設置事例	ヤマシタ山下 シウヘイ修平	宮地エンジニアリング(株)	15:00～15:15
D-2	全素線塗装型PC鋼より線の塩害地域における適用事例と設計・施工の基準化について ～沖縄県での高耐久PC橋への適用～	フジ地 啓太	黒沢建設(株)	15:15～15:30
D-3	ONR工法に用いる塗膜の耐久性	ニイタニ二井谷 キョウジ教治	オリエンタル白石(株) 技術研究所	15:30～15:45
D-4	亜硝酸リチウム水溶液を用いたPCグラウト充てん不足部の新しい補修工法 ～リパンプ工法の開発・実用化～	カキタ嶋谷 トモシヲ知繁	(株)ピーエス三菱	15:45～16:00
D-5	タブレット端末を用いた橋梁概略点検システムの構築と実地調査による検証	イバヤシ井林 コウ康	長岡工業高等専門学校	16:00～16:15
D-6	既設PC T桁橋の外ケーブル補強設計における格子構造理論の適用性 ～国道49号麒麟橋～	フジタ福田 ショウノブ佳典	北陸地方整備局 新潟国道事務所	16:15～16:30
D-7	北陸道におけるアルカリ骨材反応の調査・設計・施工の要点	ヒラオ平尾 ヨシオ義男	中日本高速道路(株) 金沢支社	16:30～16:45
D-8	北陸道における凍結防止剤による塩害を受けた橋梁桁端部の調査・設計・施工の要点	スズキ鈴木 ヒロオ俊雄	中日本高速道路(株) 金沢支社	16:45～17:00
D-9	橋梁定期点検結果から見た損傷の進行状況	オカダ岡田 エイジ英治	北陸地方整備局 北陸技術事務所	17:00～17:15
D-10	海岸近くの塗替え塗装工事における塗装設計の役割と留意点	カタケチ片脇 清士	(一財)土木研究センター	17:15～17:30
D-11	新潟市における橋梁維持管理の実施状況について	フジタ福田 タイチ太一	新潟市 東部地域土木事務所	17:30～17:45

報文発表時間割(2日目)

「A 会場」11月12日

調査研究

4報文

4階 メイプル

番号	報 文 名	発表者	勤務先	発表時間
A-12	石川県におけるアルカリシリカ反応が発生した橋梁の詳細調査と対策工法	ミナモト 俊彦	東京コンサルタンツ(株)	8:30~8:45
A-13	アルカリシリカ反応(ASR)により劣化したRC橋脚の補強とモニタリング	ウラハ 修造	(株)国土開発センター	8:45~9:00
A-14	妙高大橋のモニタリング	ヒグチ 徳男	北陸地方整備局 高田河川国道事務所	9:00~9:15
A-15	新潟沿岸部での暴露試験によるコンクリートの塩分浸透性の評価	タニグチ 秀明	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	9:15~9:30

「B 会場」11月12日

維持管理・施工 1

4報文

5階 常磐の間(A)

番号	報 文 名	発表者	勤務先	発表時間
B-12	床版補修工事の作業効率化に向けた取り組み ～北陸自動車道 極曲高架橋、鉢伏川橋の床版補修を事例として～	スギヤマ 裕一	中日本高速道路(株) 金沢支社 敦賀保全・サービスセンター	8:30~8:45
B-13	橋梁長寿命化に向けた取り組みについて	スズキ 邦夫	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	8:45~9:00
B-14	床版取替工事を対象としたプレキャストPC床版継手の開発と急速施工 ～西名阪道 御幸大橋(上り線)の夜間施工・昼間交通開放による床版取替工事～	シロシ 晃生	横河工事(株)	9:00~9:15
B-15	合理的な延長床版工法の提案	シリヤマ マモル	中日本高速道路(株)	9:15~9:30

「C 会場」11月12日

維持管理・施工 2

4報文

5階 常磐の間(B)

番号	報 文 名	発表者	勤務先	発表時間
C-12	親不知海岸高架橋の上部工における予防保全対策の効果検証	ノダ 克宏	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟	8:30~8:45
C-13	国道8号糸魚川地区橋梁架替えにおける塩害対策について ～能生大橋の事例～	タカモト 秀樹	北陸地方整備局 高田河川国道事務所	8:45~9:00
C-14	NAPPおよびNAPPアンカー工法による補修・補強	塩川 勝良	高周波熱練(株)	9:00~9:15
C-15	ニッケル被覆炭素繊維シートを用いた電気防食工法 ～コンクリート構造物への新たな電気防食工法の開発～	ヨバシ 俊秋	オリエンタル白石(株) 技術研究所	9:15~9:30

「D 会場」11月12日

点検・設計

4報文

5階 波光の間

番号	報 文 名	発表者	勤務先	発表時間
D-12	橋梁のノージョイント化	クサキ 清志	東日本高速道路(株)関東支社 千葉工事事務所	8:30~8:45
D-13	橋梁点検手法と2巡目点検時の損傷進行状況および今後の課題について ～最近の橋梁点検実施例～	カサイ 秀敏	大日本コンサルタント(株)	8:45~9:00
D-14	赤外線サーモグラフィを用いた鋼・コンクリート合成床版の非破壊検査手法に関する研究	クサヤマ 浩	川田工業(株)	9:00~9:15
D-15	架橋40年 海岸部に位置する塩害橋梁の更新について ～歌高架橋の架替設計～	イサキ 義一	北陸地方整備局 高田河川国道事務所	9:15~9:30

報文集掲載報文(口頭発表はありません)

番号	報 文 名	著者名	勤務先
調査・研究 5報文			
H-1	振動測定によるプレストレストコンクリート橋の異状検知 ～撤去橋梁(PC橋)を用いた臨床研究の事例紹介～	北野 勇一	(一社)プレストレスト・ コンクリート建設業協会
H-2	高新高橋の床版劣化調査について ～電磁波レーダを用いた調査と検証～	辻森 伸幸	北陸地方整備局 富山河川国道事務所
H-3	広帯域超音波法を用いたグラウト充填調査システムの開発	原 幹夫	(株)日本ピーエス
H-4	撤去されたプレストレストコンクリート橋による解体調査 ～撤去橋梁(PC橋)を用いた臨床研究の事例紹介～	小林 崇	(一社)プレストレスト・ コンクリート建設業協会
H-5	妙高大橋における構造モニタリングの結果と評価	石沢 孝	光ファイバセンシング 振興協会
施工・維持管理 7報文			
H-6	鋼アーチ橋の耐震補強工事の概要 ～小原橋耐震補強工事～	額谷 啓司	川田工業(株)
H-7	簡易な機材を用いた桁洗浄実験報告	長野 睦	新潟県土木部 道路管理課
H-8	美川大橋(供用40年を経過した橋梁)の床版取替え工事	本野 貴史	(株)北都鉄工
H-9	北陸地域の特性を考慮した高速道路の維持管理マネジメントの取組み	関 哲明	中日本高速道路(株)金沢支社
H-10	環境に優しい、構造物に優しいアクリルゴムを用いたコンクリート 表面保護工法「アロンブルコート®Z-X、Z-Y工法」	冬木 邦彦	(株)駒井ハルテック
H-11	プレキャストRC・スマートウォールの開発 ～工期短縮と低コスト・高品質を目指して～	大倉 孝雄	(株)ネスコ・メンテナンス新潟
H-12	急速施工に伴う品質確保について	徳永 佳照	JFEエンジニアリング(株)